

一宮町地域公共交通総合連携計画（素案）に対するパブリックコメントと対応

NO.	提出者	内容
1	A	<p>計画書は素案であるために具体的なことがわかりにくいのですが、あえて言わせていただきます。まず、1回の利用料として200～300円ということですが、どの程度の利用数が損益分岐点になるとお考えなのでしょうか？当然町からの財政出動は必要になるでしょうが、ある程度ペイできる数値目標はあるのでしょうか？これがないとせっかくのいい計画も絵に描いた餅となるでしょう。仮にあるとして、その目標値達成へのプロモーション策は立案してあるのでしょうか？この計画書のままだとにこにこサービスの二の舞になりかねません(にこにこサービスが導入された時も同じような計画案があったのではないですか)。広報やホームページだけでは周知は無理です。無料試乗会とか、駅を中心とした市街地のバリアフリー化、お年寄りが町中で買い物する時のしやすさ(例えば空き店舗を活用した休憩所づくりなど)、デマンドバスを印象に残るわかりやすいネーミングやデザインにする(例えば真っ赤にペイントされた桃太郎バスとか)、徹底した自治会の活用、お年寄りを抱える若い世代や学生を引き込む工夫などが必要です。デマンド交通自体はぜひ導入してほしい施策ではありますが、たくさんの人に利用され、定着するには非常に大きなエネルギーが必要になると思います。運営体制づくり(人・モノ・システム)とプロモーションは中でも大切なことです。残念ながらこの計画書からはその点がいまいち伝わってきません。さらに、福祉という観点からはデマンド交通というやり方には全く異論はありませんが、財政計画もいっしょに素案に盛り込んでいただきたいものです。これからの福祉は!と住(受益者)の双方にメリットがあるもの、言い換えれば双方が負担し合い、活用するものだからです。判断材料となるような具体的な展開案がもっとほしい。</p>
	対応	<p>● 1年間運行した場合の試算は 参考《先進地事例(芝山町)》</p> <p>【支出】 約1,400万円(2台・9時間運行)</p> <p>【収入】 約330万円(利用料)</p> <p>[35人×200円(片道)×2(往復)×20日/月×12ヶ月=3,360,000円≒3,300,000円] (アンケート結果から一宮町の買物、通院について公共交通を使う可能性のある潜在需要量、いわゆる買物、通院について家族等に送迎されている方を1日当たり354人と試算し、その10%、35人を1日当たりの利用者と考え、片道200円で計算すると往復400円、12ヶ月で約330万円と想定されます。)</p> <p>【支出】 【収入】 【町負担】 1,400万円－330万円＝ 1,070万円</p>

この他、広告料（車に広告（社外マガネット・社内広告を募集、掲載）を少しでも頂けるよう考えていきます。

しかし、潜在需要量1日当たり354人の10%、35人という1日当たりの利用者には根拠がなく、どれだけ利用されるかはあくまで想定となります。全国的に高齢化が進んでいる現状で、各市町村は公共交通をインフラ（インフラストラクチャ）整備、（生活の基礎となる道路、水道整備等）と考え、公共交通に力を入れています。高齢化が進む一宮町でも、公共交通をインフラ整備と考え、公共交通を推進して参りたく、住民の皆さんも、1人1人が自分達の公共交通と認識頂き、利用することによって公共交通が存続するという意識で、よろしくお願ひします。

●ちなみに22年度試験運行の試算は

参考≪先進地事例（芝山町）≫

【支出】

約700万円（2台・9時間運行）

【収入】

約350万円（国補助金1/2）

約160万円（利用料）

$[35人 \times 200円(片道) \times 2(往復) \times 20日/月 \times 6ヶ月 = 1,680,000円 \div 1,600,000円]$

（アンケート結果から一宮町の買物、通院について公共交通を使う可能性のある潜在需要量、いわゆる買物、通院について家族等に送迎されている方を1日当たり354人と試算し、その10%、35人を1日当たりの利用者と考え、片道200円で計算すると往復400円、6ヶ月で約160万円と想定されます。）

計510万円

【支出】 【収入】 【22年度町負担】

700万円 - 510万円 = 190万円

この他、広告料（車に広告（社外マガネット・社内広告を募集、掲載）を少しでも頂けるよう考えていきます。

●周知の関係ですが、デマンドバスを印象に残るわかりやすいネーミングやデザインにする（例えば真っ赤にペイントされた桃太郎バスとか）等、良い意見を頂きました。ぜひネーミングやデザインについて検討して参りたいと思います。又商工会等関係機関と協議させて頂き、デマンド交通を盛り上げていけるような、商店活性化策と合わせて、検討していきたくと思います。

●今後、試験運行について福祉関係のことも考慮に入れ、詳細に検討し、実施前には広報やホームページ、防災無線、住民説明会、要望があれば各家庭にも説明に伺う体制をつくり、試験運行を推進して参ります。

2	B	<p>[高齢者等]から「交通弱者」等に。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現状では、高齢者のためのデマンド交通システムという誤解が生まれます。最終案では「交通弱者（高齢者、障害者、子ども等車の運転ができず公共交通機関しか利用できない社会的に弱い立場の人）」という表現に改めるとともに、障害者とその家族、子育て中の家族にとってもこのデマンド交通システムが重要であることを明記し、検証してください。高齢者が委員にいますのでその声が大きくなる面もあるのですが、ご理解いただけるものと思います。
	対応	<p>協議会で住民アンケートをとり、協議してきた結果、要望の少なかった通勤、通学、観光については今後の課題とし、今回の試験運行では、公共交通を使う可能性のある、通院、買物について家族等に送迎されている方を潜在需要量としたため、「高齢者等」という言葉にさせていただきました。よろしくお願い致します。</p>
3	B	<p>デマンド交通システム等について、関心を高め、多くの方々の意見に耳を傾けるために、町のホームページの改善を要望します。（パブリックコメントの数が少ないのではないかという心配）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「町のHPの「回覧板」について <p>大変有効に活用しています。ありがとうございます。2月1週の「住民説明会開催」が「地域公共交通活性化協議会」にリンクしていません。今後は、単に白黒のPDFを載せるだけでなく、町民にとって活用しやすい形式を検討し、改善してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・トップページの改善について <p>トップページを見るだけではパブリックコメントを募集中であることがわかりません。トップページにパブリックコメント（意見募集）のリンクを設ける、「新着情報」履歴を長期間残すなど、改善をご検討ください。</p>
	対応	
4	B	<p>『デマンド交通』にわかりやすい名称を。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・『デマンド交通』という名称では、どのようなサービスか見当がつかないという意見があります。愛称を募集してはどうでしょうか。『デマンド交通』の試行の開始

		にあたり、広く認知してもらおう効果も期待できます。『ドア・ツー・ドア公共交通サービス』など内容のわかる名称や、ニックネームなどの応募が考えられます。いかがでしょうか。
	対応	もう1人の方からも同じ意見を頂きました。 ぜひネーミングやデザインについて検討して参りたいと思います。
5	B	『にこにこサービス』の発展型と位置づけ、サービスを落とさないように。 ・説明会でも、『にこにこサービス』を現在の使用している方にとって、『デマンド交通』の実施により負担増になるという理由で、『デマンド交通』そのものについて不満が出されました。現在の『にこにこサービス』に該当する条件の利用については、サービスを落とさない工夫ができるのではないかと思います。例えば、条件付無料チケットの配布、事前申請による減免、事後申請による還付、などの方法が考えられます。実務的に負担が少なく、運用上に混乱が少ない方法の可能性をご検討ください。このように『にこにこサービス』の発展型と位置づけると、一宮町らしさを活かし維持発展させる考え方になります。そのほうが、理解者も増えるのではないかと考えます。なお、『公共交通総合連携計画（素案）』の中で、「『にこにこサービス』の認知度が低い」ことで「『にこにこサービス』のニーズが少ない」と説明している部分がありますが、よく理解できません。両者は別の性質だと思いません。逆に「ニーズはあるが、認知度が低いために、利用者が少ない」と考えられるも受け取れます。『にこにこサービス』のニーズについて、もう少し丁寧な調査をしていただければと思います。また、『デマンド交通』の開始にあたっては、認知度を上げる方法をご検討ください。
	対応	住民説明会で質問の多くでた料金について、実務的に負担が少なく、運用上に混乱が少ない方法での検討をして参ります。 又、連携計画の公共交通を取り巻く問題点と課題の中で『にこにこサービス』についてふれておりますが、修正をさせていただきます。
6	B	利用料金の根拠の説明を。 ・始めるからには成功させたいと願っています。将来的には、誰もが利用するサービスという前提で考えたいと思います。ついては、開始前に、利用料金の根拠となる経費や利用者数の予測と目標などの全体像について、もう少し丁寧に説明していただきたいと思います。よろしくお願ひします。 タクシーの利用状況のデータについて ・現在タクシーの利用者がどの程度いるのか、可能な範囲で分析していただければと思います。具体的には、「町内間の利用」と「町外への利用」の「利用者数」「利用距離または運賃（平均）」の比較、時間帯ごとの「利用者数」「利用距離または運賃（平均）」等の比較、乗車場所「タクシー乗り場」「無線」「路上」などの比較な

		<p>どです。基本的には、JR上総一宮駅の乗降客が増えることで、タクシーの利用者が増えると考えられます。すみ分けによる、共存共栄は可能だと考えますがいかがでしょうか。</p>
	対応	<ul style="list-style-type: none"> ●利用料金については、協議会で検討させて頂き、お知らせ致します。 ●タクシーの利用状況のデータについては可能な範囲で分析します。
7	B	<p>電話だけでなく、ファックス等による受付も可能に</p> <ul style="list-style-type: none"> ・聴覚に障害があると電話での申し込み等ができません。ファックス等による申し込みも可能になるよう検討してください。
	対応	<p>検討させて頂きます。</p>